



2008～09 年度  
国際ロータリー会長

李 東 建

# Weekly Report Niigata



2008～09 年度  
新潟ロータリー会長

柴 田 史 郎

新潟 RC 11 月第 2 例会 (2008.11.11) No.2776

## (1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

### (2) 柴田 史郎会長挨拶

ポリオとは脊髄神経性小児麻痺(急性灰白脊髄神経炎とも)という病気のことで、患者の排泄物が口から入ることによりポリオ・ウィルスに感染し発病します。主として脊髄神経の一部が犯され、患者の約 5～6 パーセントが死亡し助かった場合でも手足の麻痺が残ることが多いのです。不顕性感染といって感染しても殆どの方が大した症状無しで済むことが多いのですが、一旦発病すると悲惨なことになります。

RI の提唱で 1985 年に始まったポリオプラスプロジェクトは大詰めに来ています。この病気のワクチンを世界中の新生児すべてに投与し、地球上からこの病気をなくするという壮大なプロジェクトです。当初ポリオの常在国は 125 カ国ありましたが最近では 4 カ国に減りました。患者数も世界中で年間数千人程度に減っています。もう一息の所に来ていると言えます。このプロジェクトはロータリーによる寄金以外に WHO、国連財団、ユニセフ、CDC などの他、多くの国の政府からの寄金により運営されています。また実務的にも病気に関係することですからロータリー単独で出来るはずも無く、前記の機関以外にも多くの機関の協力の下に実施されているようです。巨額の運営予算が組まれています。最近の年間予算 700 億円近くのうちロータリーからの拠出金は最近では年間 30 億円から 40 億円くらいで、予算全体の 4～5 パーセント程度です。また現在の寄金予定額などから見て 2008 年には 90 億円 2009 年度には 250 億円近くの不足が出そうな勢いで財政はかなり逼迫しているのが実情です。

先般ビルゲイツ財団からロータリーのポリオプラスプロジェクトに対し 1 億ドルの寄付申し出がありました。RI ではこれに応じて向後 3 年を掛けて同額の 1 億ドルの寄付を集めることになりました。形はビルゲイツ財団がらみですが RI としてもこのプロジェクト遂行の戦略(近いうちにポリオに止めを刺す)を持って

おり、ビルゲイツ財団からの寄付をきっかけにして今回の新たな寄付を募ることになったものようです。

理事会で何度も検討した結果われわれのクラブでも賛同することにしました。

「ビルゲイツ財団から 1 億ドルの寄付がありその際の約束でロータリーにおいても同額寄付を集めることにした」という言い方では、いかにもロータリーの主体性が感じられない意味不明の寄付のように聞こえますが、実態はそうでもないようです。

しかし、地区から来る情報は不十分であり、この際ビルゲイツになぜ同調しなければならぬのかと不信を感じる会員がいても不思議ではありません。情報はもう少し丁寧にそして分かり易く入れてもらいたいものです。

本日は地区財団委員長の神成 PG において頂きそのあたりのお話をお聞きしたいと思っています。

## (3) 委員会報告

### ・白勢 仁士 I A 委員長

クリスマス年末年始献血呼びかけキャンペーンに多くの方々からご協力戴き感謝します。今週も受付けておりますので、よろしく御願います。

**(4) 幹事報告（山田 隆一幹事）**

11月15日（土）はR I会長代理歓迎晩餐会で  
す。16日（日）の地区大会参加の方でバスを利用  
される方は8：00 シルバーホテル前、8：15  
古町十字路 より 乗車下さい。名札は幹事が持参  
いたします。

**(5) 卓話「ロータリー財団について」**

地区財団委員長 神成 肅一 氏

**11月18日の例会予定**

卓話「新潟県の観光政策」

新潟県観光局長 坂巻 健太 氏

新潟ロータリークラブ ホームページアドレス

<http://www.niigataarc.jp/>